

第 213 回
定例探鳥会

日時：2004 年 9 月 12 日 (日) 天候：曇りのち晴れ

コース：高来神社 高麗山 八俣山 浅間山

集合時間の気温は22。前月までの猛暑は影を潜めて、なんとなく秋の気配も感じます。出発前の挨拶をしていると高い空にタカが飛んでいます。オオタカに似た姿ですが、大きさからハイタカと判断しました。お次はサギの群れが通ります。16羽のアオサギでした。

今日は久しぶりに正規のコースに戻りました。出発してすぐに、高来神社の屋根越しに40羽くらいの混群が現れました。メジロ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラの中に眉斑がはっきりとした鳥がいます。センダイムシクイのようですが、確認できません。ヒタキの仲間も混ざっていたようです。

浅間山に近づくと、ミズキの枝先を飛ぶヒタキのような鳥を見つけました。そこで、今日は浅間山を終点ということにして、ゆっくりと観察することにしました。スコープをセットして待っていると、2羽のコサメビタキが現れました。ミズキやサクラの枝にとまってくれたので、羽づくろいする姿や白いお腹にカワイイ瞳をゆっくりと見ることができました。すぐ側のサクラの木では、細い枝にコゲラがとまって一生懸命に穴を掘っています。ねぐらにするのでしょうか、見つけたときには頭が隠れるくらいだったのが30分くらいの間に尾羽だけしか見えないほどに深くなっていました。コサメビタキを探したり、コゲラの働き振りを見たりしていると、2羽のアオバトが高い枝にとまりました。こちらの気配に驚いたのかすぐに飛んでしまいましたが、緑の木の中に見えた黄色い喉から胸の色はきれいでした。参加者全員が充分に満足して、秋の気配を楽しんだ探鳥会でした。

参加者

参加人数 31 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|-----------|------------|--------------|-------------|
| 1. 南 那津子 | 2. 下倉 紘一 | 3. 鈴木 逸子 | 4. 吉田 宣子 | 5. 小川 高弘 |
| 6. 平塚 津矢子 | 7. 森田 義雄 | 8. 大坂 英樹 | 9. 吉田 敬一 | 10. 加藤 卓也 |
| 11. 白井 弘恭 | 12. 山田 文則 | 13. 鈴野 嘉久 | 14. 大谷 秋代 | 15. 八木 正 |
| 16. 国友 昭男 | 17. 五明 賢 | 18. 片倉 暹 | 19. 松下 弓子 | 20. 吉尾 孝 |
| 21. 木田 ハマ | 22. 古賀 勝秋 | 23. 清水 哲子 | 24. 沢田 興三 | 25. 別所 三郎 |
| 26. 小谷 茂雄 | 27. 大川 幹夫 | 28. (田端 裕) | 29. (内山 規矩雄) | 30. (金子 典芳) |
| 31. (岩佐 昌夫) | | | | |

見聞きした鳥

種類数 21 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|-------------|---------|------------|------------|-------------|
| 1. ダイサギ | 2. トビ | 3. ハイタカ | 4. ノスリ | 5. タカ sp |
| 6. キジバト | 7. アオバト | 8. ドバト | 9. ヒメアマツバメ | 10. コゲラ |
| 11. アオゲラ | 12. ツバメ | 13. イワツバメ | 14. ヒヨドリ | 15. ムシクイ sp |
| 16. コサメビタキ | 17. エナガ | 18. シジュウカラ | 19. ヤマガラ | 20. メジロ |
| 21. ハシブトガラス | アオサギ | ゴイサギ | カルガモ | |

: 八俣山から花水川を望んで確認されたもので参考記録とする (集計には加えない)

サギのカウント調査

平塚市の鳥に”白サギ”が指定されましたが、まだ調査が行われていません。日本野鳥の会神奈川支部では、本年は白サギに注目しています。平塚大橋の下流の竹やぶはサギ類のねぐらになっていますが、今年の初めから5月末頃までは、川幅の拡張工事をしていたためか、この竹やぶにはほとんどサギの仲間がいない状態が続いていました。6月に入ると少しずつ姿を見せ始め、7月末には100羽を超えるようになりました。その後も数はどんどん増えていき、8月末には300羽、9月中旬には400～500羽になっています。ねぐらの竹やぶは多数のサギに被われて真っ白い点が散らばっているように見えるようになります。そこで山田文則さんがリーダー（こまたん流リーダーシップ）になって、9月10日からこのねぐらに集まるサギの調査を始めました。観察の対象はアオサギ、ダイサギ、チュウサギ、アマサギ、コサギ、ゴイサギの6種です。



観 察 日：毎週金曜日夕方

時 間：16時30分～18時頃まで約1時間半(日没時間の変動にともなって変わります)

観 察 場 所：平塚大橋の東側(平塚側)の付け根付近

9月10日以降の記録は次のとおりです。

	9/10	9/17	9/24	10/1
アオサギ	10	4	7	4
ダイサギ	157	71	33	38
チュウサギ	20	150	241	281
アマサギ	262	141	46	11
コサギ	225	135	183	168
ゴイサギ	10	26	9	7
合 計	684	532	519	509

この表で分かるようにチュウサギが非常に多いことが明らかとなりました。平塚・大磯では夏鳥に分類されており、徐々に少なくなっていきます。アマサギも9月初めには非常に多くがいましたが、どんど

ん数が減ってきています。やはり夏鳥であり、すでに渡りを始めているようです。山田さんの観察では9月15日に約70羽、28日には約40羽のアマサギが小田原方面へ飛び立ったことが記録されています。このサギのカウント調査はしばらく(今年いっぱい)続ける予定となっています。数が非常に多いと、種類の見分け、数の確認、記録ととても忙しくなります。観察する人、記録する人のご協力をお願いしたいと思いますので、興味をお持ちの方は前記の時間に平塚大橋の平塚側のたもとに来てください。金曜日以外も山田さんはカウントをしていますので、近くをお通りの時には寄ってみてください。

照ヶ崎連続アオバト観察会終了

5月から、毎月最終日曜日に行っていた「照ヶ崎海岸連続アオバト観察会」も、9月26日に最終回を迎えました。5~7月は非常によい天気で猛暑の中での観察でしたが、8月は台風の接近で大荒れとなりました。9月26日も風が強くとまっていた。5時から観察を始めましたがアオバトの出走は遅く、6時16分になってようやく6羽が防波堤を飛び越えて岩礁に降りました。その後もアオバトの飛来は少なく、観察会が終わる9時までの飛来数は126羽(飛来回数14回)でした。ところが、それからの飛来数は非常に多くなり、天候のためにアオバト飛来のピークがずれてしまったようです。

今年初の試みの連続観察会には、非常に多くの人に参加していただき大成功だったと思っています。来年も予定していますので、またよろしく願います。アオバト観察会の様子が大磯町観光協会のホームページにアップされています。URLは<http://www11.ocn.ne.jp/oiso/>です。

【お知らせ】

第3回 BINOS 研究発表会

日本野鳥の会神奈川支部の研究年報BINOS掲載テーマの発表会。こまたん関連で2件の報告があります。「大磯照ヶ崎海岸におけるアオバトの幼鳥観察(こまたん)」、「茅ヶ崎里山公園におけるホオジロ類の環境選好(白田仁志)」。その他に4件の発表もあります。内容の詳細は前月号に記載されています。

日時：10月31日(日) 14:00~16:30 入場無料

会場：横浜ランドマークタワー13F「フォーラム横浜」会議室1

2005年ワイルドバード・カレンダー

予約を受け付けいたします。探鳥会幹事までお知らせください。

税込価格 ¥1,470(会員割引価格 ¥1,250)のところ、一部 ¥1,000です。

11月の定例探鳥会でお届けします(予定)。

11月の行事予告

11月7日(日) 大磯宿場まつり：例年通り「あおばとや」が開店します

11月27日(土)・28日(日) 大磯文化祭(滄浪閣)：こまたんが展示で参加します。

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 11月6日(第1土曜日)

鷹取山 11月13日(第2土曜日)

午前7時(11月から集合時間が変わります。今までより1時間遅くなりますのでご注意ください)に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散。雨天中止

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

アオバト情報

照ヶ崎への飛来情報

日付	観察時間		天気	飛来回数	飛 来 数		備 考
	開始	終了			総 数	瞬間最大	
9/5	6:00	10:00		12	71	15	アオバトのお泊まり調査 照ヶ崎で観察していると夜明けとともにアオバトが飛来します。時には100羽を超えるような大きな群れもやって来ます。果たして早朝から丹沢から飛んでくるのか、それともエリザベスサンダースホームの森などで泊まっているのか？現在調査中です
9/11	6:45	9:00		36	599	65+	
9/12	5:10	10:00		54	1072	70+	
9/16	4:50	6:00		3	110	71+	
9/19	6:00	10:00		41	422	26	
9/20	6:00	10:00		54	963	102	
9/23	5:00	10:00		30	310	30	
9/26	6:00	9:00		14	126	40	
10/1	7:00	9:30		37	476	42	
10/3	7:00	8:30		5	47	26	

その他の場所でのアオバト情報

9/11 駿河小山-不老山、10羽が飛び立つ 9/17-19 吉沢、1~10羽が飛ぶおよび声

9/24 国府津、1~5羽が飛ぶ、12~19羽のハトの群れも飛んだがアオバトとは確認できず(たぶんアオバト)

その他の野鳥情報

ツバメ : 9/4 十里木、数千羽、電線にとまる

ツミ : 9/9 吉沢、1羽、横枝にとまる

イカル : 9/14 吉沢、100羽以上の群れが土屋の方へ飛ぶ

ハチクマ : 9/14 吉沢、3羽が旋回、ハイタカが絡んできたが無視

ミソサザイ : 9/14 吉沢、1羽、地鳴きを聞いた。9/15 堂平、1羽、林道沿いの倒木にとまる

サンコウチョウ : 9/14 吉沢、2ヶ所であった混軍の中にアイリングのない個体があった

ゴジュウカラ : 9/16 金時山、2羽

アジサシ : 9/20 照ヶ崎、約1000羽、沖のブイにとまっていたが一斉に飛び立つ

ノビタキ : 9/21 吉沢、2羽()、松岩寺上の畑地。10/2 吉沢の同じ場所、4羽(1、他は不明)

コムドリ : 9/21 吉沢、26+羽、松岩寺上の畑地上空を飛ぶ。9/19にも20羽、30羽の群れが見られていた

アオアシシギ : 9/22 花水川、21:40頃に声が聞こえた

アマツバメ : 9/23 富士見町(平塚市)、10羽。9/23 旭小学校付近(平塚市)、十数羽。9/24 渋田川(三菱樹脂付近)、84羽

コガモ : 9/22 花水川、2羽()。9/23 花水川、3羽ずつを2ヶ所で確認

オオミズナギドリ : 9/26 照ヶ崎、多数(1~3万羽?)、沖の海面すれすれを飛ぶ

ヒタキ類 : 9/29 いこいの村(大井町)、60+羽が西に向かって飛ぶ(エゾビタキ、コサメビタキ)

エゾビタキ : 10/2 土屋、6羽、イヌザクラの実を採餌

次回の定例探鳥会は2004年11月14日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第212号 / 10月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>